

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 微生物病研究所

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		免疫学・微生物学分野での論文数が平成28年度より増加し、IF10以上の論文割合が増加していることや、新たに日本医療研究開発機構(AMED)の「老化メカニズムの解明・制御プロジェクト」(平成29年度～平成33年度)が採択されるなど優れた成果をあげている。また、マリアワクチン開発につながる研究成果がNatureに掲載され、世界的に注目されていることが評価できる。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		新たに学術振興会事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」に採択され、高校生対象プログラムを行ったことなど、新たな方法で研究成果の発信に努めたことが評価できる。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		独自に外国人PI育成制度を導入していることや、海外の複数の大学と学術交流協定を締結し、研究者交流、シンポジウムの開催を行っていることが評価できる。
【業務運営】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		新たにAMEDのプロジェクトが採択されたことにより、受入金額が昨年度と比較して約55%増加したこと、余剰スペースを民間研究機関等に貸し出すことで約4900万円の収入を得たことなど、研究所として共通の目的として取り組むことで、安定的な自己収入の確保につなげていることが評価できる。

【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人あたりの論文数について、目標を達成し、かつ高い水準を維持していることが評価できる。また、競争的資金(科研費以外)の採択金額については、研究所内執行部が積極的な応募を奨励したことや大型プロジェクト獲得に意欲的に取り組んだことで、実績を大きく向上させたことが高く評価できる。</p>
